第 2013-19 号

恵みと真理のニュース

2013 年 6 月の五次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養 5 洞 458-5 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］ 子供を治してくださり苦難が祝福になるように導いてくださった神様の恵みに感謝ささげます。

前回に続いて

子供を大きい病院に移しても治療の進展がなく病院生活は長くなり風邪にかけても症状はひどくなり酸素呼吸機にたよって息をする時もありました。そして、また高熱がつづけて入院する日が多くなりました。さらに 1 歳が過ぎても言語発達障害と足に力がないから自ら立つこともできなくて発育遅延状態という診断を受けました。子供が病弱なことが私のせいだと思われ、とても心が痛くて、特に周りからいろんなことを聞いたり 否定的な目で子供と私を見られるのを感じるとき心が痛くて空が崩れるようでした。なぜ私と子供にこんな試練があるのか、苦難の中神様に対する恨みができ信仰が弱い時もありました。しかし、礼拝をささげ当会長の牧師の説教を聴きながらまるで私に話しすることだと思い私の心に響き慰めるられ、治療に対する確信が受け、新しい力も受けました。愛する人たち， あなたがたを 試みるために 身にふりかかる 火のような 試練を， 何か 思いがけないことが 生じたかのように， 驚き 怪しんではなりません． むしろ， キリスト の 苦しみにあずかればあずかるほど 喜びなさい．それは， キリスト の 栄光が 現れるときにも， 喜びに 満ちあふれるためです（ペトロの手紙一 4：12，13）の御言葉を思いながら神様に頼って以前よりもっと主を捧げることに中心として子供が続けてリハビリ治療も受けるようにしました。当会長の牧師が私と子供のため祈ってくださり希望の話しをしてくだいました、教区長と首区域長をはじめ多くの生徒が祈ってくださりもっと力と勇気を出せました。
また、それからまもなく子供の発育状態がよくなり始めました。神様に感謝しもっと治療の神様を願いながら子供の前で賛美を歌いました。
“主われを愛す　主はつよければ　われよわくとも　おそれはあらじ　主は私を愛し　主は私を　愛して下さる　アーメン”　二番目の子は今 6 歳になりました。神様の愛をたくさん受け明るく弱い中でも比較的に健康で育ちました。二番目の子供によって舅姑もイエスを受け救われました。
神様には私が担える試験だけ下さりこれを通して私の家族に多くの祝福をくださいました。私たちの信仰が試練を受けて大きくて強い祝福を受けようになり、親戚とイエス様を信じない隣人に神様の愛と権能を伝え、神様に栄光を捧げることが出来ました。神様は私夫婦にまた、一人の子供のプレゼントをくださいました。
私は今神様が下さった三人の子供が神様の恵みと愛で大きく育つのが喜びであり、やりがいを感じます。教会学校で 11 年目教師で奉仕する一方児童区域長として区域の子供たちも主の御言葉と愛で見守っています。そして、区域長の尊い使命にも神様に頼りながら担います。礼拝中心、御言葉中心に生活するように頑張っています。このすべてが神様の恵みです。喜ぶ時大変な時、相変わらず神様を愛する者にいつも共にいらっしゃって時によって助ける恵みを下さるわれらの主を賛美します。治療の神様を賛美します。主と主の体である教会と隣り人のため奉仕して捧げる恵みと機会を与えてくださり、耐える力を下さる神様に感謝します。主が再び来られる日まで、主が呼ばれるその日までいつどこでも信仰と従順の姿勢でまじめに忠誠な人生を生きます。

［信仰コラム］ 耳刺し通した しもべ

″… 戸あるいは柱のところに連れて行って、主人は、きりで彼の耳を刺し通さなければならない。そうすれば彼はいつまでもこれに仕えるであろう。″(出 21:1～6)

モセの律法に明示されたヘブルしもべに対する規定は当時社会に実在する奴隷制道の慣習を最大限制限して悪習をとり除きながら力をつくして大目に見てやるようにしました.
律法が内包している根本的な精神は奴隷制道を反対するのです.だからモセの律法はしもべの利益と権利を保護するために細心な気配りしています.主人を仕えなければならない6年の義務期間が経って7年目になるとかその中に稀年にあえばしもべは自由の身になることができました.ところでしもべに与える特別な選択権が一つあります.べである期間に主人の思いやりで結婚して子を得るようになった者が主人と妻子を愛して自由を願わないように決まった時手続きを通じてそのままとどまることにするのです.この時には通じなければならない法的手続きがありました.
″しもべが本当に言うのを私が主人と私の妻子を愛しますので出かけて自由しないと言えば主人が彼を連れて裁判長に行くことですまたは彼を門や柱に連れて行ってそれにきりでその耳を刺し通するわざをしてから彼が永久にその主人を仕えよう″(出21:5,6)しました.このような法規は聖徒たちに非常にありがたくて感動的なメッセージを聞かせます.
あまたの人々がいろいろの事情によって神様を仕えるようになって教会に出席します.
ところでどうしてどんな人は離れ去ってまたどんな人は永久に神様を仕える方を選ぶようになることでしょうか?
永久にその主人を仕えるのを願うヘブルしもべに対する制度でこのような質問に対する答を調べます.しもべが主人の家に生きながら仕える間彼に愛する対象たちが生じたから主人の家に残っているようになったのです.神様に出て来た人々の中にも中途に離れてしまう人と永久に仕える人のできる理由は本当に愛して大事にする対象たちを持つようになるのかそれともないのかにあります.神様を永久に仕えるようになる聖徒たちが本当に愛して大事にするようになる対象たちが何やら調べます.

第一は,神様がくださる永生です.
教会に出席して神様の言葉を聞きながらも永生の道理を悟ることができない人はいつかは何をだしに使っても神様を離れ去って世の中に帰ってしまいます.しかし神様がくださる永生を得て,永生の貴重さが分かって愛するようになった人は周り人々が皆世の中に帰っても彼の心が少しも童謡されないです.ある場合でも神様を離れ去ることができないです.

二番目は,神様がくださる天国です.
この世の中には人が永久に生きる都城がないし永久に生きる人もいないです.
人生は旅人と行人のようにしばらく世の中にとどまって行って立ち去らなければなりません.だから神様がくださる天国を企業で得てその貴重さが分かるようになった人は永久に神様を離れ去りません.

三番目は,私たちが本当に愛するようになる対象は神様です.たちは神様が授ける永生と天国が極めて貴重さが分かってこのすべてのものを愛するだけでなく結局このすべてのものを恵みと贈り物で下さった神様を本当に愛する者にならなければなりません.そのようになるのが当たり前です.数年間教会に通って神様の言葉を上告しながらも神様を本当に愛する心が生じなかったら加えることができなく不幸な事です.
使徒パウロは言うのを″だれも今後は、わたしにわずらいをかけないでほしい。わたしは、イエスの焼き印を身に帯びているのだから。″しました.(ガラテヤ人への手紙6:17)″私が神様を愛して主が与えられた永生と天国を貴重に思うので神様を永久に離れ去らないで仕えます.″と告白する皆さんはまた″私がイエスキリストを愛するから会うようになることならどんな逼迫と苦難と損失でも拒否しないだろうまたそれによって生じる跡を栄え栄えしく思います.″と言えるように願いします.

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

三つの部類の人生

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

“あなたの一生で最大の喜びと幸せを感じらせてくれることが何ですか?” という質問を受けたら皆さんはどんなに答えますか? 真のクリスチャンの返事はこのようです. “神様がいらっしゃるということと神様がどんな方なのかを分かって信じるようになったのです.” 付け加えて説明しようとすると “創造主である神様, イエスキリストを送って罪人を救援してくださる神様が分かって信じるようになったのです.” という言葉です. 聖書に記録されるのを “主を恐れることは知恵のもとである、聖なる者を知ることは、悟りである。”(箴言 9:10) しました. イエスキリストが親しくおっしゃるのを “永遠の命とは、唯一の、まことの神でいますあなたと、また、あなたがつかわされたイエス・キリストとを知ることであります。”(ヨハネによる福音書 17:3) しました. 神様に対する認識と態度はその人の生と死の意味, 来世の運命を決めるようにします. 誰がどう思って言ってもこの事実は変わらないです. 神様に対する認識と信仰という面でよく見れば三つの部類の人生があります.

これを明らかにそして劇的に対比して見せてくれる場面がダニエル書 2章と 3章にあります. イスラエル民たちが偶像を仕えることで神様の罰を受けてバビロンの侵略を受けました. そして国が亡びて民たちは虜になって引かれて行きました. ネブカデネザル王は虜たちの中で賢い若者たちを選抜して王宮で教育しました. その中にヘブル青年四人がいました. 彼らの名前はダニエル、シャデラク、メシャク、アベデネゴです. ある日でした. ネブカデネザル王が夢を見てそれによって彼の心が煩悶して眠ることができなかったです. 王が魔術師たちと呪術師たちと占い師たちを呼び集めて彼らに王の夢を言って解釈を知らせてくれと言ってしました. 彼らが言うのを王が見た夢が分かる人はいないと言うとネブカデネザル王はバビロンの知恵者たちを皆処刑しなさいと言い付けました. ダニエルとその友達も死をまぬかれることができなくなりました. ダニエルは王に時間をくれと言ったし彼の友達に神様に祈るように頼みました. その晩, 神様がダニエルに王が見た夢の内容とその解釈を知らせてくださいました. ダニエルは神様が分かるようにしたと言って王の夢内容と解釈を王に言いました. するとネブカデネザル王は歎服してダニエルに伏せてお辞儀をして礼物と香品を与えるように言い付けました. そして言うのを “あなたがこの隠密なことを現わすことができることを見たら, あなたがたの神様は神々中の神さまで王たち中の主であり, 隠密なものなどを現わす方なのが明らかだ.” と言いました.王はダニエルを高めてバビロンすべての地方を統治するようにしてすべての知恵者たちの親分にしました. ダニエルは王に要請してシャデラク、メシャク、アベデネゴを立てて地方の仕事を管轄するようにしました.

ところである日, ネブカデネザル王が金で大きい神像を作ってツラ平原に建てました. 王は総督たちを含めて各地方のすべての役人たちを神像の除幕式に参加するようにして伏せてお辞儀をするようにしました. この時王はシャデラク、メシャク、アベデネゴがお辞儀をしなかったということが分かって引っぱて来なさいと言い付けました. 王は彼らにまた機会をくれると言ったがシャデラク、メシャク、アベデネゴは金神像にお辞儀をしないと胆大に答えました. その言葉を聞くとネブカデネザル王が怒って彼らを溶炉に投げ堕ちなさいと言い付けました. 溶炉がはなはだしく熱いのでシャデラク、メシャク、アベデネゴを投げる人々がその炎に燃えて死にました. シャデラク、メシャク、アベデネゴは結縛されたまま猛烈に燃える溶炉の中に堕ちました. 王が眺めたら結縛されない四人が火の中で通うのが見えました.

ネブカデネザル王は彼らに出なさいと言うと彼らが火の中で出たが火に焼けたにおいさえなかったです. ネブカデネザル王は大きく感動して言うのを “ネブカデネザルは言った、「シャデラク、メシャク、アベデネゴの神はほむべきかな。神はその使者をつかわして、自分に寄り頼むしもべらを救った。また彼らは自分の神以外の神に仕え、拝むよりも、むしろ王の命令を無視し、自分の身をも捨てようとしたのだ。”(ダニエル 3:28). 王はシャデラク、メシャク、アベデネゴをバビロン地方でもっと高めてくれました. 私たちはこのような事件の場面で三つの部類の人々を見られます.

第一部類は、偶像を仕える人々です.

人には獣たちで捜してみることができない神さまの意識と罪意識があります. こんな意識は教育を通じて持つようになるのではなく先天的に与えられるのです. それですべての時代, すべての地域で人が住んだ所では神を崇拝した跡があります. ところで不幸にも真の神様が分からなくて被造物を仕えるとか鬼を仕える偶像崇拝をする人々がいます. ネブカデネザル王が立てた金神像に排した人々は偶像崇拝をする人々です. 各々仕える神さまが何でも彼らはものともせずにためらわずに金神像に伏せてお辞儀をしました. 宗教は皆大同小異なので相互尊重して他の宗教人たちに改宗を勧めてはいけないと主張するのが偶像崇拝の宗教の普遍的な性格です.

二番目の部類は、偶像とは区別された神様がいらっしゃることを認識して認めながらも仕えない人々です.

ネブカデネザル王はこんな部類の人々の行動をそのまま見せてくれる示しです. ネブカデネザル王は自分が見た夢の内容をダニエルがそのまま言いながら明快に夢を判することを聞いて感嘆してダニエルにお辞儀をして礼物と香品を与えるように言い付けました. そして言うのを “あなたがこの隠密なことを現わすことができることを見たら, あなたたちの神様は神々中の神さまで王たち中の主であり, 隠密なものなどを現わす方なのが明らかだ.” と言いました.

それだけではなく王はダニエルを高めてバビロンすべての地方を統治するようにしました. こんなに処身するほどになったらダニエルが仕える神様を仕えなければならなかったです.

しかし彼はその後に金で神像を作って立てました. それだけではないです. 金神像に伏せてお辞儀をしないシャデラク、メシャク、アベデネゴを溶炉の中に投げこむようにしました.ところで彼らが火の中で悠悠と通うことを見て驚いて彼らを呼び出しました. 火に焼けたにおいさえしない三人の青年を見てネブカデネザル王は衝撃を受けて感動して叫びました. “ネブカデネザルは言った、「シャデラク、メシャク、アベデネゴの神はほむべきかな。神はその使者をつかわして、自分に寄り頼むしもべらを救った。また彼らは自分の神以外の神に仕え、拝むよりも、むしろ王の命令を無視し、自分の身をも捨てようとしたのだ。(ダニエル書 3:28). こんなに言うほどなら直ちに金神像を壊しなさいと言い付けて, シャデラク、メシャク、アベデネゴの神様だけ仕えると宣布するのが正常です. それなのにネブカデネザル王はあいかわらず偶像宗教を仕えました.ネブカデネザル王と似たり寄ったりに処身する自称キリスチャンという人々がいます. 彼らは教会に出席して礼拝に参詣して奉仕もするがしかし聖書の言葉を信仰と行為の絶対的な基準で信じないです. 彼らは宗教多元主義者たちで各宗教それなりの救援の真理があると言います. こんな信仰を持って神様を仕えるということは不合理説です. 神様はこんな人の礼拝を悦納しないです.

三番目の部類は、聖書に啓示された神様のみを相変わらず信じて仕える人々です.

シャデラク、メシャク、アベデネゴはこんな信仰を持った人の標本です. ダニエルもそうです. こんな聖徒は創造主で救援者である神様を信じる信仰を世の中の権勢や財物より重く思って, 肉身の命よりもっと珍しく思う人々です. こんな信仰を持ったクリスチャンは偶像崇拝は憎むが 偶像宗教を信奉する人は愛しています. そうするから傳道するのです. 一日速く福音を信じて救援を得るようになるのを切に望みます. 天国に行く道に同参するようにするために心こがれる心で傳道します. そうするから非難と逼迫を受けることを恐れないでこれを忍耐しながら傳道します. このような信者が生まれかわった信者です. 基督教会の初期に活躍したステパノはユダヤ人たちに福音を伝えている途中公会に引かれて行って死刑に当たる定罪を受けました. それなのにステパノは泰然自若だったしその顔が天使のように輝きました. 石を手に持った人々が彼を囲まれた時神様はステパノを死の危機で保護してくれなかったが天が開かれてイエス様がお立ちになっているのを見るように靈眼を開いてくださいました.

世の中の褒め言葉や肉身的な安為と利得のために福音を混雑するようにして変わるようにする者等をかばって彼らの活動を助ける事をすることは真の信者としては絶対にできない事です. もしそのように処身することができればその人は真実のクリスチャンではないです. 生まれかわった信者ではないです. 生まれかわった信者はこうのように自分が創造主である神様が分かってまた救世主であるイエスキリストが分かるようになったことと信じるようになった事実によって世の中のでは持つことができない喜びを持つのが当たり前です. 皆さんは皆このような部類のクリスチャンとして神霊な喜びを持って生きて行ってください.